標高差1,500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出

スポまち！長官表彰2023
⑫長野県東御市

＜目標分野＞　※該当するものに全て印

- ☑ ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ☑ ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

＜目標内容＞

まちの欠点（平地が少ない）を認め、転換思考をもって地域の資源（価値）に繋げ、地域活性化に取り組む
⇒標高差のあるまちの特徴を活かすため、高地トレーニングエリアを整備

～「とうみ」へ新しい人の流れをつくる～　交流人口の増加、地域経済の活性化

湯の丸高原スポーツ交流施設利用者の市内宿泊数　14,000泊（令和７年度目標）

湯の丸高原スポーツ交流施設において医科学的なデータが集積されることで、市民の健康長寿の取組みへ還元したい。

＜ＰＲポイント＞

＜概要＞　計画期間：～令和8年3月31日

〈現状・課題〉

「難読市」ランキング堂々の１位！人口3万人弱の小さな自治体であり、知らない方が大半

スポーツ合宿利用者：H31年5,165泊、R元年11,972泊、令和2年10,179泊、令和3年11,956泊、令和4年12,107泊 ⇒《R7目標：14,000泊》

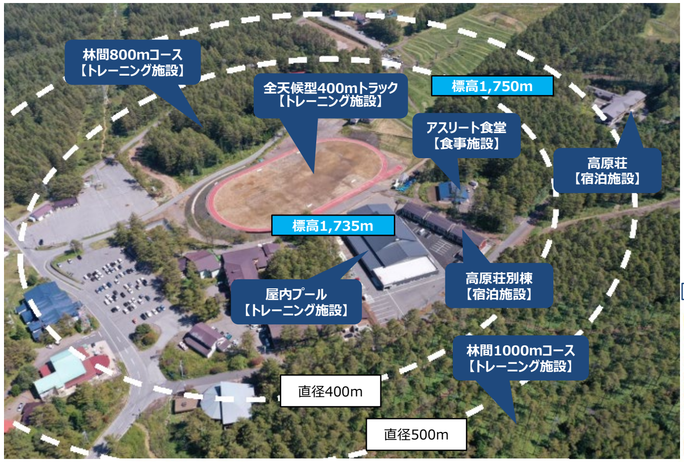
東京オリンピック・パラリンピックを経て評価が上がり、監督・コーチの口コミや選手のSNSでの発信もあり「東御」、「湯の丸」の認知度が飛躍的に向上。

〈総合的な取組内容〉

■多様な宿泊ニーズに応えるため、合宿所タイプの宿泊施設に加え、令和3年にアパートメントタイプの宿泊施設を整備
⇒目標：宿泊者数　14,000泊

■とうみ湯の丸高原スポーツコミッションが合宿の誘致、支援を行い、練習環境から宿泊、食事の手配に至るまで、ワンストップでトータルサポートすることで利用者負担を最大限軽減
⇒目標：交流人口の増加、地域経済の活性化

■長期滞在する選手やコーチ陣のために地産の食材を活用した女子栄養大学監修の食事を5週間毎食違うメニューを提供。
管理栄養士が常駐し、アレルギー対応も可能。
⇒目標：宿泊者、交流人口増、地域経済活性化



GMOアスリーツパーク湯の丸

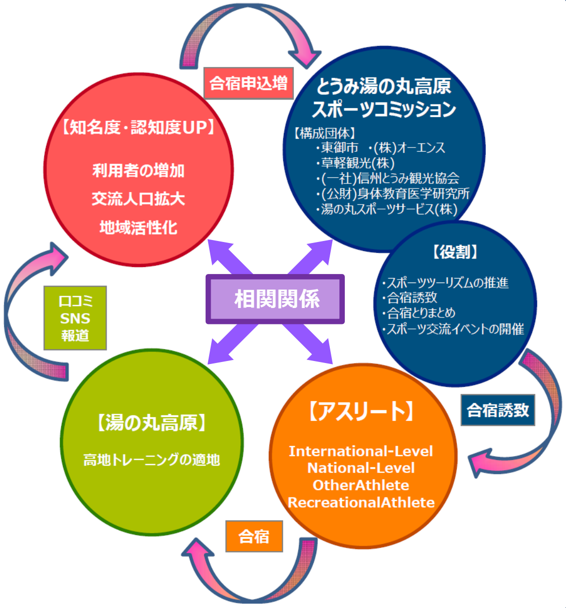
東御市HP

ＧＭＯアスリーツパークHP

ＧＭＯアスリーツパーク Instagram

【フォローアップ欄】令和6年度以降における計画の進捗状況

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



各種基礎データ

- ●スポーツ部局の所属先：東御市文化・スポーツ振興課
- ●地方スポーツ推進計画：東御市スポーツ推進計画
- ●地方版総合戦略：東御市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略
- ●地域スポーツコミッション：とうみ湯の丸高原スポーツコミッション

【問合せ先・電話番号】
東御市企画振興部文化・スポーツ振興課
TEL　0268-75-1455